

VOL.22

こんにちは、(公社)ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサーの古田菜穂子です。新年度も2ヶ月が過ぎようとしています、みなさま、お元気でしょうか？

実は、今年度からこのコラムを昨年度より少し頻繁に書かせていただくことになりました。観光本部の担当の方の「コラムのある月は、メルマガの開封率が高くなるんですよ」という言葉に励まされて決めました。どれくらいの方が読んでいただけているのか実のところわからないのですが、もしよければ何らかの感想や、どこかで私に出逢ったら「読んでいますよ」とお言葉などをいただけると嬉しいです。

ところで、みなさんは兵庫県庁の今年度の観光施策がどのようなになっているか、ご存知でしょうか？ 2020年に策定された「ひょうごツーリズム戦略（2020～2022）」に続き、コロナ禍による大きな社会潮流の変化などを踏まえた「ひょうご新観光戦略」（2023-2027年度）が策定されたことについてはどうでしょう？

実は、その中間年にあたる昨年度には、昨今のインバウンドの回復状況や、急速に発達した AI や観光 DX などを含めた情勢変化への対応等を踏まえて、その中間見直しを実施され、後期の重点取組があらたに策定されました。観光戦略自体は 2027 年までの策定となっていますが、例えば神戸空港の国際化が整う 2030 年なども目途に入れた、より具体的な施策が示されたものになっています。

私自身はこの戦略の取りまとめを行う「ひょうご新観光戦略推進会議」の座長をつとめさせていただいてきましたが、この会議には、日本旅館協会兵庫県支部長、兵庫県バス協会会長、関西エアポート関係者、サステナブルツーリズムの専門家、地域資源を生かした事業者、ユニバーサルツーリズムのアドバイザーなど、各種専門家の方々を委員に迎え、県側からは知事、産業労働部長、観光局長など関係者が揃い、それぞれの立場から、かなり白熱した議論を交わしました。その成果が、まさにこれからの県の観光施策の指針となり、具体のアクションにつながっていくわけです。

これは本当に重要なことで、もしかしたら県庁でのこういった議論は形だけで、文書化されたらオクケーみたいに思われがちかもしれませんが、そうではなく、職員のみなさんは、この指針に沿って本気で予算獲得をし、実行に移していくわけです。当然、その予算はみなさんの税金や公金が使用されます。だからこそ、ぜひとも有効活用していただきたいとの思いで、私も本気でこの策定事業には向き合わせていただきました。

そしてまとめられた施策については、概要版と全体版が兵庫県庁の HP に掲載されていますので、ちゃんと目を通していただきたいのです。そして、今回は決定したものですから無理なのですが、議論に関しては、通常は「パブリックコメント」といって内容に県民が意見を言う機会もちゃんと用意されているのです。

ただ、そのためにはみなさんも日頃から自主的、意識的にそのサイト等を見て、発言していただく必要があります。県庁のスタッフが「意見をください！」と電話をかけたりはしません。まずは日頃から、こういったお知らせにもぜひ留意しておいていただきた

いのです。

ということで、今日は、以下に中間見直しによる後期重点取り組み概要をご紹介します。特に概要版の2ページ、後期2か年で重点的に取り組む施策については、ぜひともよく目を通していただければと思います。こんなことから、みなさんそれぞれの観光事業への取組への次の一歩が変わってくるのでは、と思います。
ではではまた！

https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr16/senryaku/documents/minaoshi_gaiyou1.pdf